

4月特別号



美原小だより



〈学校教育目標〉 自ら学び 心豊かでたくましい子どもの育成
考える子（かしこく） 思いやりのある子（やさしく） 元気な子（たくましく）

「学校は、すごいこと・びっくりすること（奇跡）がおきる場所」

校長 生野 元

学校だより4月号で、校長から保護者の皆様に「笑顔のあふれる学校」を目指しますとお伝えしました。しかし、あ始業式で校長から子どもたちに話をするときには、わざと別の言い方で私なりの気持ちを伝えました。

始業式で話したのは、「学校は勉強するところ」「学校はみんなが仲良く協力するところ」「学校はすごいこと・びっくりすることが毎日おきる場所」です。子どもたちにとって、勉強したり、仲良くしたりすることは当たり前のことかもしれません。でも、頑張れば頑張るほど、子どもから大人になるほど、難しくなってくるのだと思います。小学生でも壁にぶつかって悩む子も多いと思います。でも、「美原小学校の子どもたちが力を合わせれば、きっと毎日素敵なことが起きるよ。すごいこと・びっくりすること、奇跡だって起きるかもよ。」と、校長からの期待と願いをこめて話をしました。

そうしたら、なんと！数日間で美原小の子どもたちの「すごいこと」をたくさん見つけてしまいました。とっても嬉しくなったのでご報告します。



この姿勢、1年生の2日目とは思えません。こんな1年を見るのは初めてです！



「はい、元気です。」と言いながら、ハンカチ・ティッシュも見せるのは、実はすごく難しいのです。



朝から全員静かに先生の話聞いています。毎日黒板に描く先生の絵も実は面白いです。

2日目の朝は、雨でした。先生たちが何も言っていないのに、きれいに並んだ靴と長靴。当たり前ではありません。



学年集会で、先生の話もしっかりと聞いています。姿勢が素晴らしいのは、美原小の伝統なのでしょう。



一生懸命に掃除をしています。写真ではわかりづらいですが、猛烈に流しを磨いています。



一斉下校で、1年生の案内をしてあげる班長さんたちです。とっても優しい姿に感動しました。



一番すごいのは、登下校の姿です。雨なのに、班のみんなが1年生に合わせてゆっくり歩きます。班長さんは歩道橋でも振り返り、1年生の安全を確かめてくれていました。

今後も学校だよりやホームページ等で、学校の様子をお伝えしていきます。どうぞよろしく願いいたします。

(お詫び) 先日の入学式で保護者の方にお渡しするはずだった「入学のしおり」を、学校の手違いによりお渡ししておりませんでした。翌日、1学年の保護者様には文書でお詫びするとともに、しおりを配付させていただきました。今後の学校行事や来年度の入学式でこのようなことのないよう、引継ぎと準備をしっかりと行います。誠に申し訳ございませんでした。